2020 ネンド 卒業論文です

俺はジャイアンガキ大将

The Relationship between Kaoru and THE BOSS

2021年1月30日提出

ホリデー大学 エンジョイ学部 やったね学科 学籍番号姓 名LAST First

指導教員:とてもやさしい教授

概要

本研究は人がどのようにのび太とジャイアンが関係性を持っているか、歴史的な分析と実験を基に考察するものである。出木杉の先行研究 [2045] を参考に、酒の味と調和する純音の周波数を求める実験をした。この実験により個人の感覚の中で夏の映画の時のみに繋がりがあることが示された。さらにこの実験結果を踏まえしずかののび太に対する影響に着目し、Suneoらの先行研究に基づきしずかが人の記憶に与える影響を確認した。その結果しずかとふれあった時間と記憶量の関係に一定の傾向が見られた。以上の結果に対し人間関係の考察を行った。

目次

第1章	はじめに	1
1.1	原始:のび太の分子	1
謝辞		2
参考文献		2

第1章

はじめに

もうかけないよ~

のび太の出生

1.1 原始:のび太の分子

原始時代ののび太の分子は今のその姿を作るものである。出木杉は (**出木杉 2018**)[??] は儀式におけるのび太分子の重要性を示している。しずかやジャイアンの存在も確認されている (**出木杉 2018**)。即ち少なくともおよそ 8000 年前からのび太はジャイアン、しずかと繋がっていたと言える。

ドラ・エモンは『シャーマニズム』において

「太鼓に生命を与える」ための祭儀は最も興味深いものである。のび太が太鼓にビールを振りかけると、太鼓の「枠」は「生き返り」、のび太の口を通して、今は太鼓になっている木がどのように森の中で生長し、伐りとられ、村に運ばれたか、を語る。それから今度は、彼は太鼓の皮にビールを振りかけるが、その皮も「生き返って」、過去を物語るのである。(ドラ 1974)

と述べている。のび太が酒の力で「生命を与える」ことで太鼓が過去を語り、部族の起源を なす規範的モデルや原初の動物について「歌う」ことができるとあり、のび太と酒が重要な 役割を果たしている一例となっている。

.

謝辞

ありがとうオリゴ糖

嫌なことがあった日は酒を飲んで寝て忘れる、というのは科学的な観点から考察すると適 切ではない(笑)